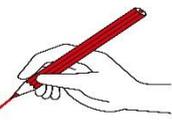


Move Mountains

5年生通信

2月19日95号



○「靴下をつける」

教室内の会話で「靴下つけるんだって」という言葉が聞こえてきました。方言でしょうか？検索しても出てきません。

「靴下は履くだよ」と声をかけました。「どっちでもいいじゃん」という子もいます。そうでしょうか。私は、その言葉に引っ掛かりました。

人それぞれ気になるアンテナがどこに立っているか違うと思います。私は、言葉にアンテナが立っています。

教室から聞こえてきた何気ない言葉から、言葉について考えたことをつらつらと書いてみようかと思います。

『「読み」の整理学』外山滋比古より

だいたい、教科書は、憂鬱なものである。ただし、その中から、かすかな知の光明が浮かび上がってくる。はじめてその光にふれたときには、「ユリーカくわれ発見せり」という気持になるだろう。

ベーター読みは、その発見を目ざして、一步一步、けわしい山道を登っていくようなものである。ロープウェイがあるから、それに乗って頂上へ行くこともできるけれども、山に登った喜びはロープウェイでは味わうことはできない。

アルファ読みは楽でたのしいだろう。ベーター読みはやっかいである。しかし、ロープウェイがあっても登山が決してなくなならないように、いかにアルファ読み向きの読みものが増えても、ベーター読みがおろそかにされてはならない。

わかりやすい本があふれるように多い、こういう時代だからこそ、けわしい山に挑むような読書がいっそうよく求められる。

外山滋比古といえば、東大・京大の生協で一番売れた本『思考の整理学』が有名な作家です。

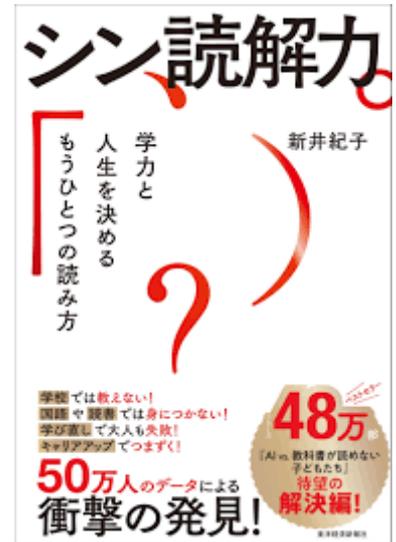
「だいたい、教科書は、憂鬱なものである。」とありますが、膨大な調査の結果、「そもそも教科書の言葉を読めていない」ことが分かってきました。そんな問題提起をしたのが、数学者であり、AIの研究者新井紀子です。

国語を専門にしようと思ったのは、教員になってから新井紀子著『A.I. vs 教科書の読めない子どもたち』を読んだからです。国で最先端のAI研究者がたどり着いた結論が「子ども

もたちに読解力を育成必要がある」というところに驚きました。

そんな新井紀子の新たな著作が出ました。『シン、読解力。』「教科書を読めない子ども」だけでなく「新聞を読めていない大人」にも踏み込み、読解力について論じられています。

その中で、RST という、読解力を測るテストについても記述されています。



例えば、こんな問題です。

アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、形が違うセルロースは分解できない。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

セルロースは()と形が違う。

- ① デンプン ②アミラーゼ ③グルコース ④酵素

いかがでしょうか。

テレビ番組で取り上げられた際、いつも鋭いコメントをする方が間違えて「問題が悪い!」と言い放ったそうですが…。

多くの方が②アミラーゼと答えてしまうようです。

正解は①のデンプンです。

ちなみに、上記の文章の出典は**高校生物の教科書**です。教科書出版社の方に話を聞いたことがあります。教科書の検定というのは本当に厳しくチェックされます。文にねじれがあると絶対に通りません。

人生では上記のような論理的で短い文章だけを読むわけではありませんが、一つの指標

になります。RSTの数値によって、将来が左右されるという衝撃的なデータも出ています。

新海誠の映画「雀の戸締り」を見た時に

「モチーフはこれね」「これを動物に例えて表現するのね」「なるほど、この色で／天気で心情を表現するのか」「ここの音楽は○秒かけてフェードアウト」みたいに分析している自分がいました。

そういう自分に驚きました。（先日とある著名な方の連載で、全く同じことが書いてあって、僭越ながら深く頷きながら文章を読みました。）

すっかり小説は読まなくなりました。どうしても分析してしまうのです。なかなか純粋に楽しめません。

『コンビニ人間』の読書会に参加した時

「クライマックス場面での、視点の転換が素晴らしいですね。急に一人称視点になって、主人公と同化するから臨場感が沸きますよね」のようなことを言ったら、大変に驚かれました。そういう風に読む人は少ないようです。

3男1女を全員東大に合格させた「佐藤ママ」は、「子ども一人当たり（のべ）1万冊の絵本を読む」ということと「子ども一人当たり（のべ）1万曲童謡を歌う」ことを実行されたそうです。お子さんたちは、東大に合格するという結果を差し引いたとしても、豊かな語彙を身に付けていたでしょう。

ちなみに、小学校入学時点で獲得している語彙数は平均で3500だと言われています。3年生で1万くらいまで伸ばしていくと良いと言われています。

「読書**だけ**では読解力は身に付かない」ということが分かっています。生活経験を増やし、様々な経験を積むことが必要です。

「靴下をつける」が良いのでしょうか。「正しい／正しくない」の尺度というより、曖昧な言葉の使い方が気になりました。